持込修理

DVD/CDラジオカセットレコーダー保証書

形名	TY-DK100	
★お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	〒□□□-□□□□
	電話	市外　市内　番号　呼
保証期間	本体	1年　★お買いあげ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名	電話

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社　AV・季節商品事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8 東芝万世橋ビル　電話（03）3257-6119

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。
修理の際には本書をご提示ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディング（株）サポートセンターへご相談ください。

修理メモ	修理年月日	修理内容	担当
	年　月　日		
	年　月　日		

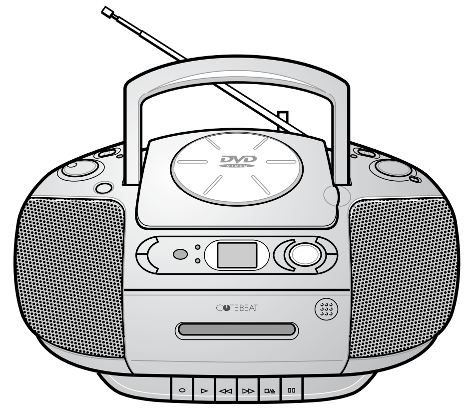
・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
AV・季節商品事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8（東芝万世橋ビル）

CUTEBEAT

DVD/CDラジオカセットレコーダー
取扱説明書

形名
TY-DK100



保証書付
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびはDVD/CDラジオカセットレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指 示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注 意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

プラグを抜く
発煙や変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く
電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、電源プラグが冷えたのを確認しコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

確実に差し込む
電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
交流100 ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

分解禁止
分解・修理・改造はしない
感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

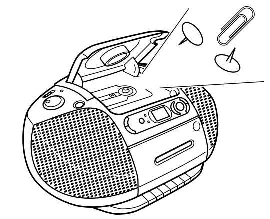
禁 止
雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない
野外で使用していて、雷が鳴り出したら、アンテナをたたんで安全な場所に避難する
感電の原因となります。

⚠警告

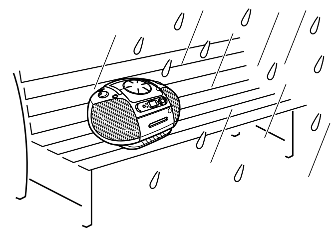
プラグを抜く
落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

つぎのことを守る
電源コードを取り扱うときは、つぎのことを守る
・傷つけない ・延長するなど加工しない
・加熱しない ・引っ張らない
・重い物を載せない ・はさんだりしない
・無理に曲げない ・ねじらない
・束ねたりしない
守らないと、火災・感電の原因となります。

入れない
機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない
金属類（クリップや針、コインなど）や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



水ぬれ禁止
雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない
火災・感電の原因となります。
降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



プラグを抜く
内部に水や異物等が入ったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

ほこりをとる
電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

禁 止
次のような場所には置かない
・ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所
・雨、きりなどが直接入り込むような場所
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所　・直射日光の当たる場所
・炎天下の車内　・ほこり、油煙の多い（調理場など）場所　・振動の強い場所
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

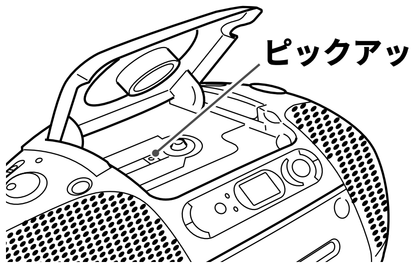
⚠注意

ディスクやカセットテープ挿入口に手を入れない
禁止
けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない
禁止
円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となります。

ひびわれ、変形、接着剤で補修したディスクを使用しない
禁止
高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因になります。

ディスクのピックアップをのぞき込まない
禁止
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



機器の上に乗らない
禁止
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

ディスクが回転中は手を触れない
禁止
回転中にディスクに触れるとけがの原因になります。

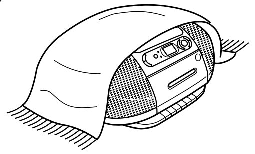
ヘッドホン、イヤホンの音量を上げすぎない
禁止
耳を刺激するような大きい音量で長時間聞き続けると、聴力障害の原因となります。

長時間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
プラグを抜く
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く
プラグを抜く
けがやコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

通風孔をふさがない
禁止
- **壁に押しつけない（背面10cm、左右側面5cm以上の間隔をあける）**
- **押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない**
- **テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない**
- **じゅうたんや布団の上に置かない**
- **あお向け・横倒し・逆さまにしない**

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になります。



⚠注意

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引く抜く
プラグを持って抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

乾電池を取り扱うときは、つぎのことを守る
つぎのことを守る
- **指定以外の電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない**
- **本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない**
- **長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す**
- **水にぬらしたり、ぬれた手で触れない**

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

免責事項について

- **地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**
- **この商品の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。**
- **取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。**

著作権について

- **音楽、映像などは著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製、改変などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。**

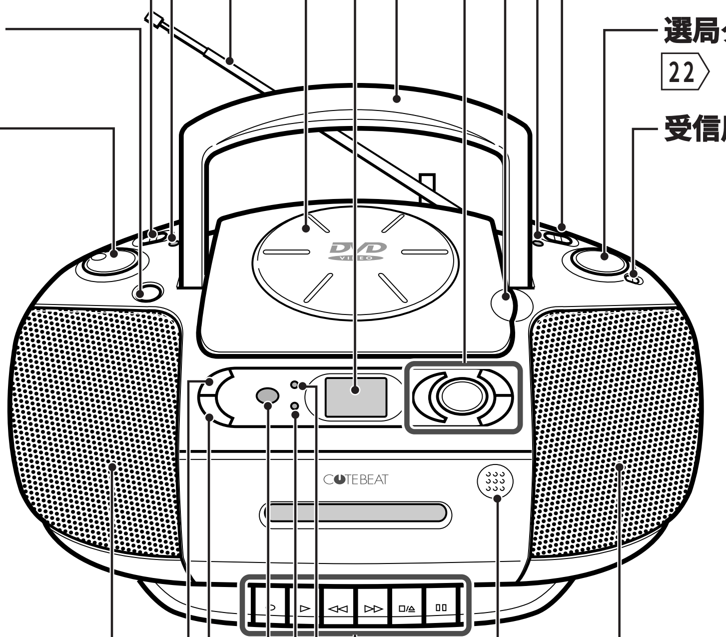
録音についてのお願い

- **録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。**

各部のなまえ

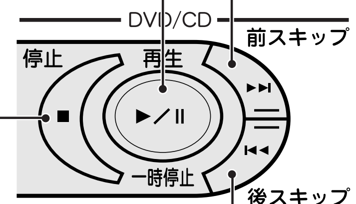
前面

:枠内数字は掲載ページ



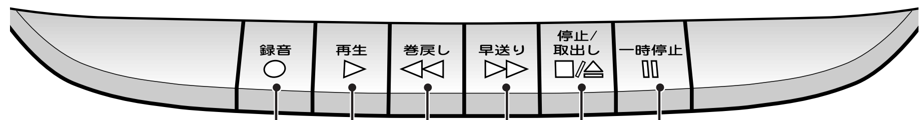
- 表示部 14,18
- ディスクふた
- FMアンテナ 22
- 電源ランプ
- 電源スイッチ
- サラウンドボタン 11
- 音量調節つまみ
- 左スピーカー
- ステレオ/モノ切換ボタン 31,32
- DVD/CDボーカルダウンボタン 31,32
- リモコン受光部
- ハンドル
- DVD/CD操作部 7
- ディスクふた手かけ
- FMステレオランプ
- ラジオバンド切換スイッチ
  テープボーカルダウンスイッチ 31
- 選局ダイヤル 22
- 受信周波数目盛
- 右スピーカー
- カセットふた（閉じる）
- カセットテープ操作部 7
- ボーカルダウンランプ 31
- マイクインランプ 30

DVD/CD操作部 14,18,30



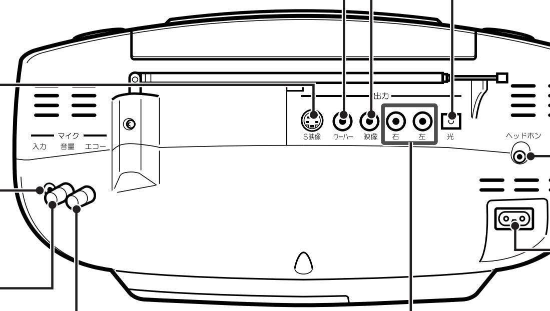
- 再生/一時停止（►/II）ボタン
- 停止（■）ボタン
- 前スキップ（►►I）ボタン
- 後スキップ（I◄◄）ボタン

カセットテープ操作部 20,23



- 録音（●）ボタン
- 再生（► ）ボタン
- 巻戻し（◄◄ ）ボタン
- 一時停止（II）ボタン
- 停止/取出し（■/▲）ボタン
- 早送り（►► ）ボタン

背面



- ウーハー出力端子 11,16
- S映像出力端子 16
- マイク入力端子 30
- マイク音量つまみ 30
- エコーつまみ 30
- 映像出力端子（黄色） 16
- 光出力端子 16
- ヘッドホン端子 11
- AC100V端子 10
- 音声出力端子
  （白色/ 左CH，赤色/右CH） 17

各部のなまえ （つづき）

リモコン

設定ボタン 34

字幕ボタン 26

アングルボタン 26

操作言語ボタン 26

リターンボタン 27

映像音声ボタン 26,30,32

DVD/CDボーカルダウンボタン 26,31,32

早送り（►► ）ボタン 24

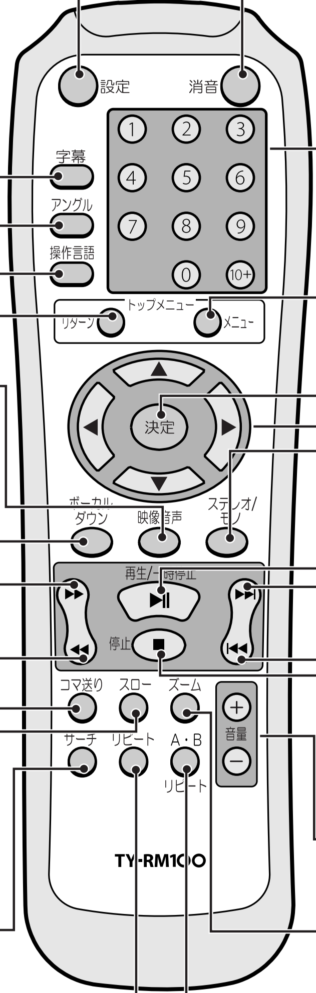
早戻し（◄◄ ）ボタン 24

コマ送りボタン 28

スローボタン 28

サーチボタン 29

リピートボタン 29



消音ボタン 27

数字ボタン 29

メニューボタン 27

決定ボタン 27

方向ボタン（▲▼◄►） 27

ステレオ/モノボタン 31,32

再生/一時停止（►II）ボタン 24

前スキップ（►►I）ボタン 24

後スキップ（I◄◄）ボタン 24

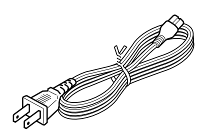
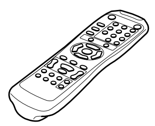
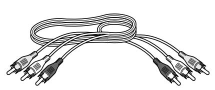
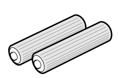
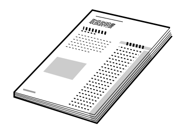
停止（■）ボタン 24

音量（＋－）ボタン 24

ズームボタン 28

A・Bリピートボタン 29

付属品

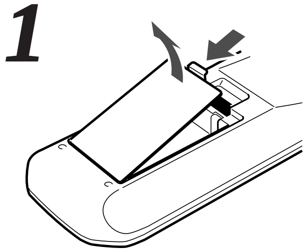
				
電源コード	リモコン	映像・音声接続コード	単4形乾電池2本	取扱説明書（保証書付）

お使いになる前に （つづく）

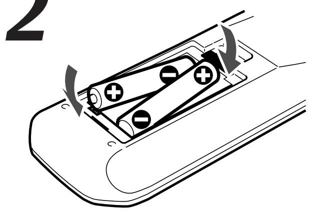
リモコンに乾電池を入れる

電池ふたを開け、付属の単4形乾電池2本を図のように入れ、ふたを閉めます。

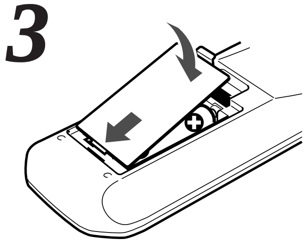
1



2



3

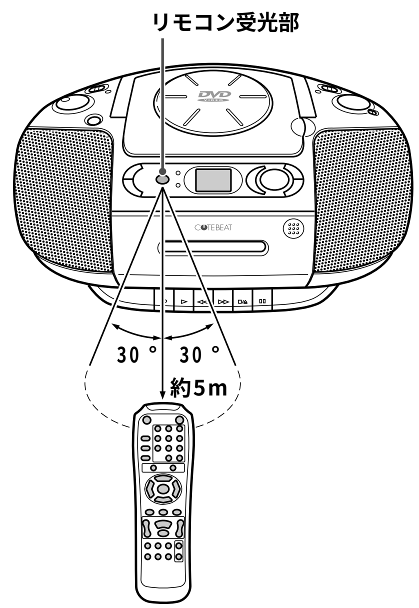


お願い

- 指定以外の電池を使用しないでください。
- 電池の極性（⊕と⊖）は正しく入れてください。
- 新しい電池と使いかけの電池を一緒に入れたり、種類の違う電池を混ぜて使ったりしないでください。
- リモコンが動作しなくなったり、動作する到達距離が短くなったときは、全ての乾電池を同時に交換してください。
- リモコンには、衝撃を与えないでください。
- リモコンを水にぬらしたり湿度の高い場所には置かないでください。

リモコンの使いかた

本体のリモコン受光部の正面から約5メートル、
左右30度の範囲内でお使いください。



正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが正しく動作しないことがあります。

- 本体とリモコンの間に障害物があるとき。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明などの強い光が当たっているとき。

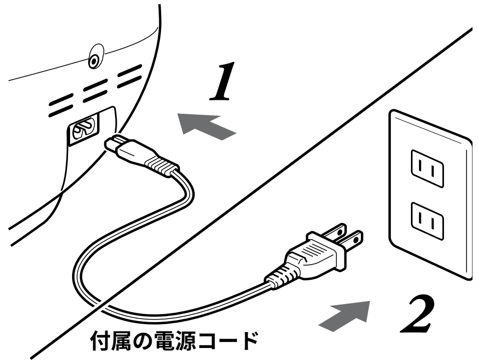
電源を準備する

本体は、AC100V家庭用電源及び、乾電池電源のいずれかを使用できます。

家庭用電源を使うとき

1 **電源コードのプラグを背面のAC100V端子へ差し込む**

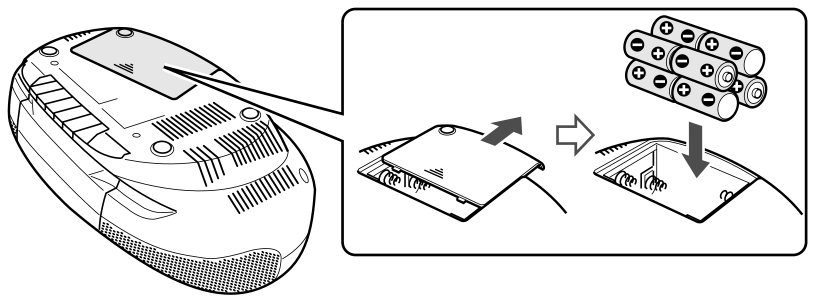
2 **電源プラグをAC100Vのコンセントへ差し込む**



お願い
- 電源コードを抜き差しするときは、【電源】スイッチを「TAPE/電源 切」の位置に合わせてください。
- テープが動作中の場合は、【停止/取出し（■/▲）】ボタンを押して停止にしてください。
- 本体とテレビ、オーディオシステム等の接続をするときは、接続前に電源プラグをコンセントからはずし、接続完了後に電源プラグをコンセントに差し込んでください。

乾電池（別売り）で使うとき

本体底面の電池ふたを開け、別売の単1形乾電池8本を図のように入れ、ふたを閉めます。



- 極性（⊕と⊖）を間違えないように図のように入れます。

乾電池の交換時期は…
乾電池が消耗してくると、音が小さくなる、音がひずむ、テープ速度が遅くなる、ディスクやテープが正常に動作しない、などの現象を生じます。

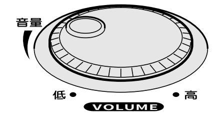
お願い
- 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本体のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本体をテレビから離してご使用ください。
- 乾電池を入れたまま長時間放置すると乾電池の消耗が進みます。また、液もれの原因となることがあります。長時間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

音量調節について

本体のスピーカーで楽しむとき

本体の【音量】調節つまみで調節する

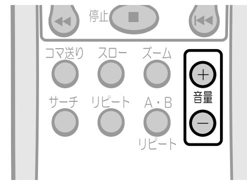
- 全体の音量は本体の【音量】調節つまみで調節します。
- 本体の【音量】調節つまみで設定した音量の範囲内でリモコンの【音量（+−）】ボタンで調節できます。



テレビやステレオなどのスピーカーで楽しむとき

リモコンの【音量（+−）】ボタンで音声出力を調節する

- 本体の【音量】調節つまみを“低”の位置まで回して、リモコンの【音量（+−）】ボタンで調節します。詳しくは「再生のしかた」手順5（P24）をご覧ください。



サラウンドを使う

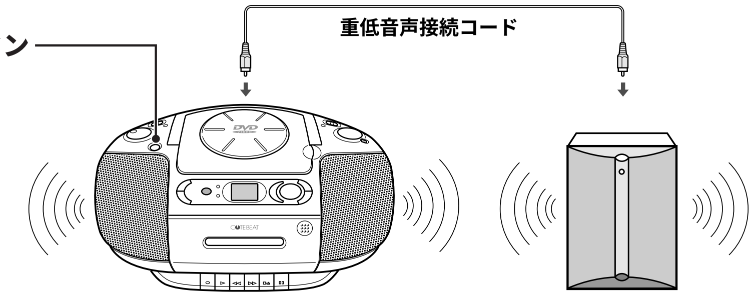
音場が拡がり、ライブ感を楽しめます。

本体の【サラウンド】ボタンを押す
もとに戻すときは
もう一度【サラウンド】ボタンを押す

一般の音楽CDや音楽テープのときに使います。

より低音を強調する

別売りのスーパーウーハー（TY-SW100）などを背面のウーハー端子へ接続すると、映画など迫力ある低音を強調してお楽しみいただけます。
ウーハーの音量は本体の【音量】調節つまみやリモコンの【音量（+−）】ボタンに連動して調節できます。



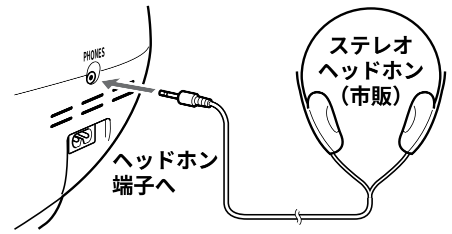
ヘッドホンで聞く

1 **本体の【音量】調節つまみを“低”の位置に合わせる**

2 **ミニプラグ付のステレオヘッドホン（別売）を後面のヘッドホン端子に接続する**

3 **本体の【音量】調節つまみでお好みの音量に調節する**

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は出なくなります。同時にウーハー出力もでなくなります。

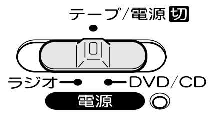


電源を切るときは

DVD/CD、ラジオのとき

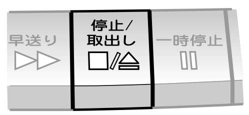
**電源】スイッチを
「TAPE/電源 切 」の位置に合わせる**

●電源ランプが消灯します。



テープのとき

**動作中の場合は
【停止/取出し（ ■/≜ ）】
ボタンを押して停止にする**



●再生・録音・早送り・巻戻しの場合は、テープが全部巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。
●電源ランプが消灯します。

再生できるDVD/CDについて

下記のディスクを再生することができます。

	映像ディスク	音楽ディスク
名称	DVD、DVD-R、DVD-RW	CD、CD-G、CD-R、CD-RW、MP3

●DVDおよびCDの規格に準拠していないディスクについては再生できないことがあります。また記録方式によっては再生できないことがあります。
●DVDの再生はリージョンコード「2」および「ALL」に限ります。他のコードのディスクは再生できません。
●DVD-ROM、DVD-RAMは再生できません。

ディスクの取り扱いについて

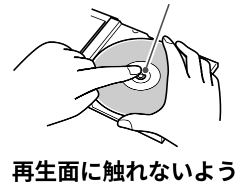
取り扱い・保管のしかた

●ディスクに紙やシールを貼らない。
●ディスクを曲げない。
●必ず専用ケースに入れて保管する。
●直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かない。

ケースからの出し入れ

出しかた

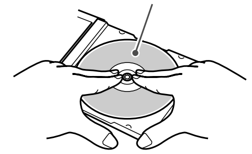
センターホルダーを押え



再生面に触れないように持って出す。

入れかた

印刷面を上にして



上から押さえて入れる。

ディスクのお手入れ

●再生する前に、再生面についたほこり，ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かってふいてください。
●シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

露つき（結露）について

●周囲の温度が急激に変化した場合、内部のレンズに露（水滴）が発生することがあります。
この状態では正常にディスクを再生できないことがあります。
このような場合、ディスクを取り出し、使用される場所で約１時間放置した後、ご使用を開始してください。

お願い
●再生面には手を触れないでください。また、傷や汚れをつけないでください。
●マークの入ったものなどＪＩＳ規格に合致したディスクをご使用ください。
●DVD/CDピックアップに水滴が付着したときは直ぐに使用しないでください。
本体を寒い場所から暖かい場所に移動したときなど、ピックアップに水滴が付着して正常な動作をしないことがあります。水滴が乾くまでしばらく経ってからご使用ください。
●その他、ディスクに表示されている注意事項をお読みください。

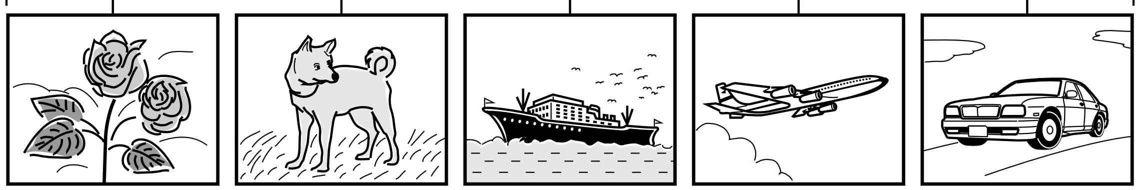
ディスク内容の構成について

通常のＤＶＤは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは「トラック」で区切られています。

■DVDの例

タイトル

チャプター1　チャプター2　チャプター3　チャプター4　チャプター5



■CD/MP3の例

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

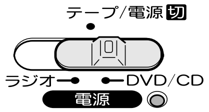


CD/MP3を聞く

再生のしかた

1 **【電源】スイッチを「DVD/CD」に合わせる**

●電源ランプが点灯します。



2 **本体上面のディスクふたの手かけを持ち上げ、ふたを開く**

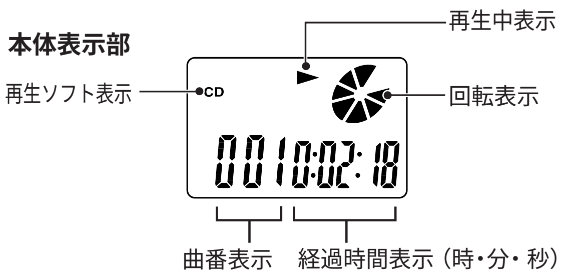
●表示部に「OPEn」と表示されます。



3 **CD/MP3をディスクテーブルに押し込みセットして、ふたを閉じる**

●表示部に「LOAd 」と表示され、内容を読み込んでから再生します。

●表示部にCDの曲番とその曲の再生時間が表示されます。



4 **【音量調節】つまみを回して音量を調節する**

5 **止めるときは【停止（■）】ボタンを押す**

●再生を停止します。

●表示部には総曲数が表示されます。

6 **ふたたび再生するときは【再生/一時停止（►/II）】ボタンを押す**

●CDの最初から再生が始まります。

7 **CD/MP3を取り出すときは**

1. 【停止（■）】ボタンを押す

2. ディスクふたの手かけを持ち上げる

3. CDの回転が停止してから ディスクテーブルの中心を押して CDを取り出す

お知らせ

●MP3方式で記録されたCDファイルを再生のときは再生ソフト表示はMP3となります。

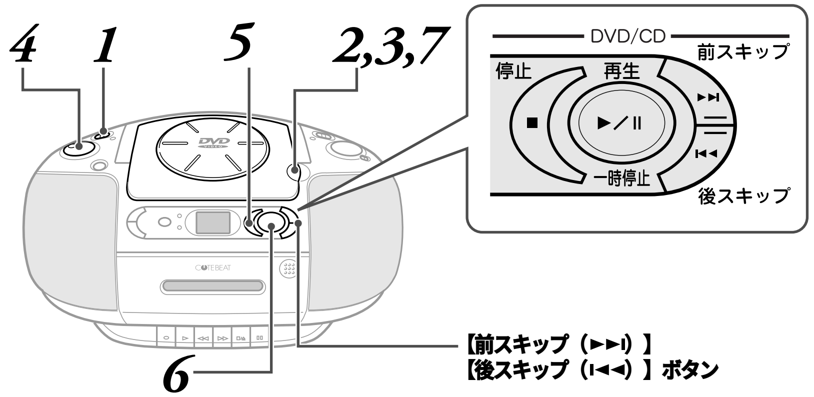
お願い

●ディスクテーブルに輸送用の保護シールが取り付けられています。
はじめてお使いになるときに取りのぞいてください。

●再生中はディスクふたを開けないでください。

●ディスクふたを開けた状態で、ハンドルを上げたり、持ったりしないでください。

●CDを取り出す場合は、CDの回転が完全に停止してから取り出してください。
回転中にディスクに触れるとけがをするおそれがあります。



再生の一時停止

再生中に【再生/一時停止（►/II）】ボタンを押す

●一時停止します。

●もう一度押すと一時停止が解除され、再生に戻ります。

曲の頭出し（スキップ）

再生または一時停止中に【前スキップ（►►I）】または【後スキップ（I◄◄）】ボタンを押す

●【前スキップ（ ►►I ）】ボタンを1回押すごとに次の曲の頭に進みます。

●【後スキップ（ I◄◄ ）】ボタンを1回押すと演奏中の曲の頭に戻ります。
2回以上押すごとに前の曲に戻ります。

お知らせ

●CDが正しい位置に乗っていないと、CDに傷をつけたり故障の原因となります。

●CDの表裏を逆に入れると“ no disc ”と表示され、再生できません。

●CDに傷，指紋やほこりがついていると、再生できないことがあります。

●テレビ画面にもCD情報が出ます。本体をテレビを接続するとより詳しい情報がテレビ画面に表示されます。（※ディスクによっては曲名など一部の表示はできません）

DVDを見る準備（接続）

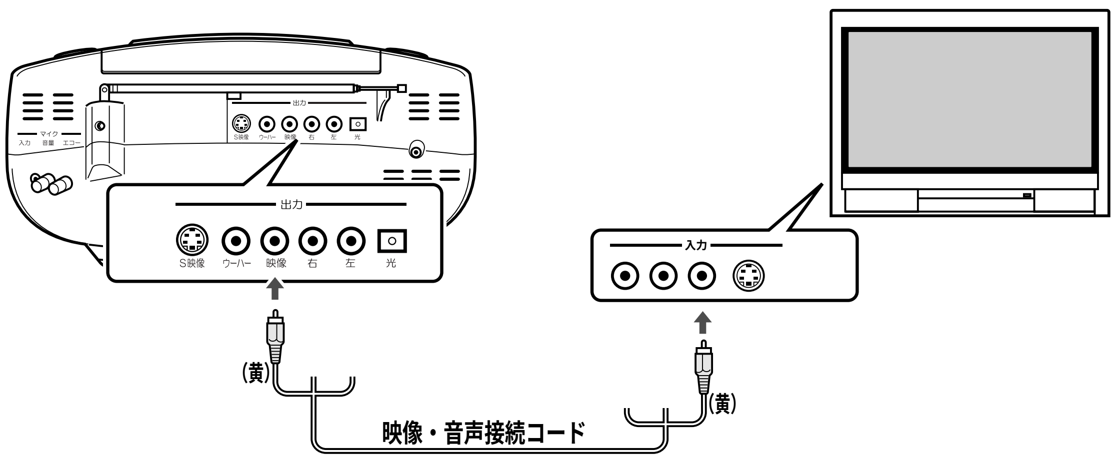
テレビとの接続

音声を本体のスピーカーで聞くとき

1 **接続するテレビと本体の電源スイッチを切にする**

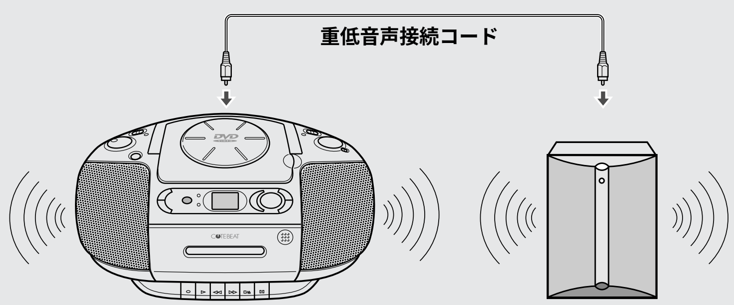
2 **付属の映像・音声接続コードの映像プラグ（黄色）をテレビと本体の映像端子に接続する**

●S映像接続コード（別売）を使用するときは、S映像接続端子に接続してください。



お知らせ

●より低音を強調して、迫力ある音声を楽しむ場合別売のスーパーウーハー（TY-SW100）などを背面のウーハー端子へ接続します。
●音量調節は本体の【音量】調節つまみやリモコンの【音量（＋−）】ボタンで本体の音量と連動して調節できます。

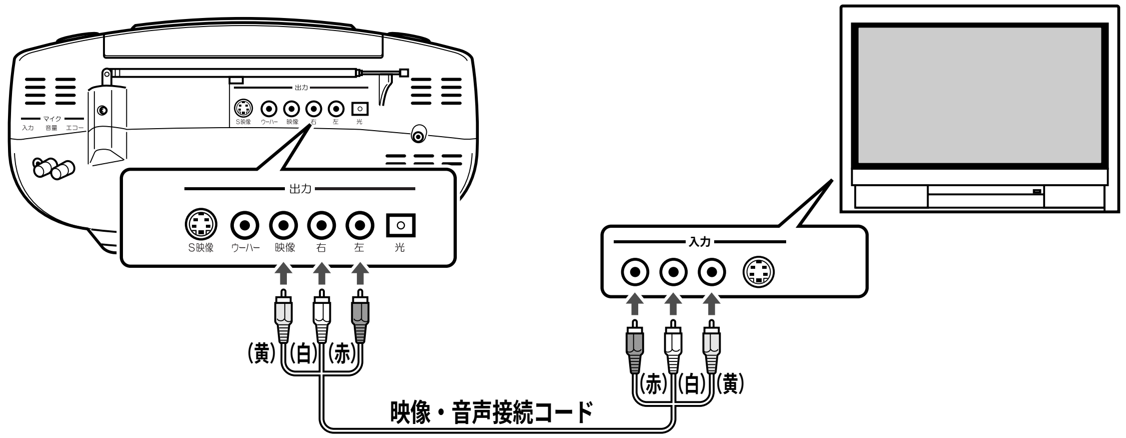


音声をテレビのスピーカーで聞くとき

1 **接続するテレビと本体の電源スイッチを切にする**

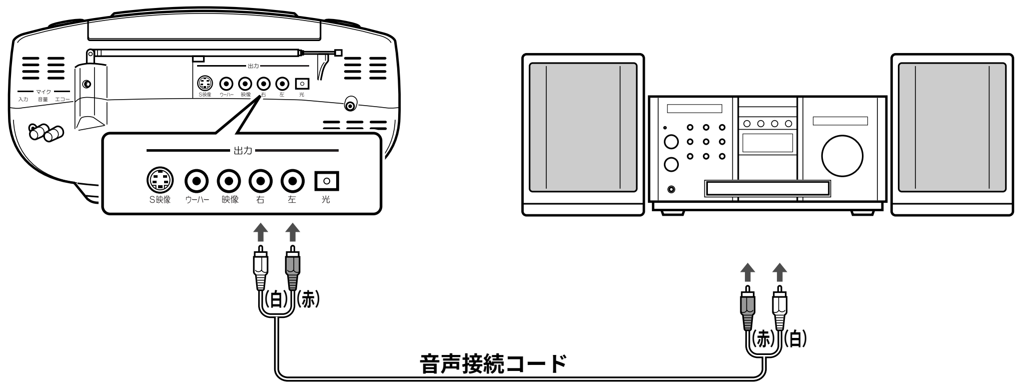
2 **付属の映像・音声接続コードのプラグを(黄色、白色、赤色)をテレビと本体の映像端子、音声端子にそれぞれ接続する**

●S映像接続コード（別売）を使用するときは、S映像接続端子に接続してください。



音声を他のオーディオ機器で聞くとき

●音声を他のオーディオ機器で楽しむときは、音声出力端子をご利用ください。
●5.1chの本格的サラウンドをお楽しみいただくときは、光出力端子をご利用ください。



お知らせ

●本体の【音量】調節つまみを“低”の位置まで下げて、リモコンの【音量（＋−）】ボタンで調節します。詳しくは「再生のしかた」手順5（P24）を参照ください。

DVDを見る

再生のしかた

1 **テレビの電源を入れ、本体を接続しているビデオ入力に切り換える**

2 **本体の【電源】スイッチ「DVD/CD」に合わせる**

●電源ランプが点灯し、テレビに初期画面が表示されます。

テレビ画面



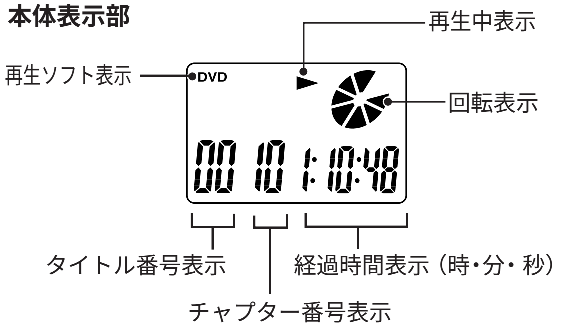
3 **本体上面のディスクふたの手かけを持ち上げ、ふたを開く**



4 **DVDをディスクテーブルに押し込みセットして、ふたを閉じる**

●本体表示部に「LOAd」と表示され、内容を読み込んでから再生します。

本体表示部



5 **止めるときは【停止（■）】ボタンを押す**

●再生をいったん停止します。

再生を継続するときはときは、
【再生/一時停止（►／II）】ボタンを押す

完全に停止するときは
もう一度【停止（■）】ボタンを押す

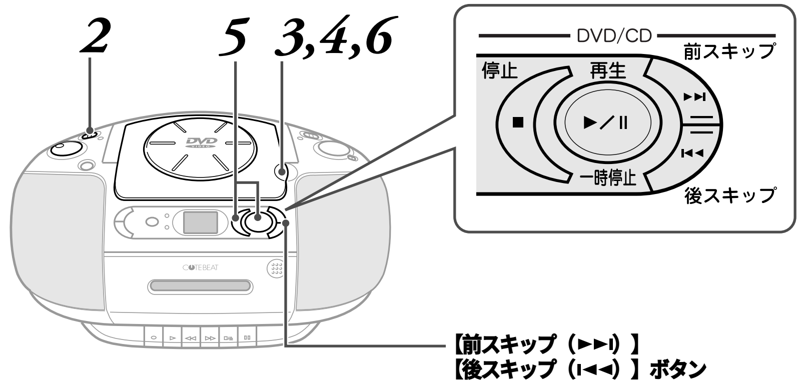
●テレビは初期画面になります。

6 **DVDを取り出すときは**

1.【停止（■）】ボタンを2度押す
2. ディスクふたの手かけを持ち上げる
3.【停止（■）】ボタンをもう一度押しDVDの回転が停止してからディスクテーブルの中心を押してDVDを取り出す

お知らせ

●再生するDVDによっては本体の【再生/一時停止（►／II）】ボタンを押してスタートするなど動作が異なることがあります。
●テレビ画面では、現在の状態や操作手順などより詳しく表示されます。
テレビ画面の表示にそってお楽しみください。



再生の一時停止

再生中に本体の【再生/一時停止（►／II）】ボタンを押す

●再生を一時停止します。もう一度押すと続きを再生します。

スキップ

再生場面を送るときは
【前スキップ（►►I）】ボタンを押す

●チャプター単位で進めます。

再生場面を戻すときは
【後スキップ（I◄◄）】ボタンを押す

●チャプター単位で戻せます。

お願い

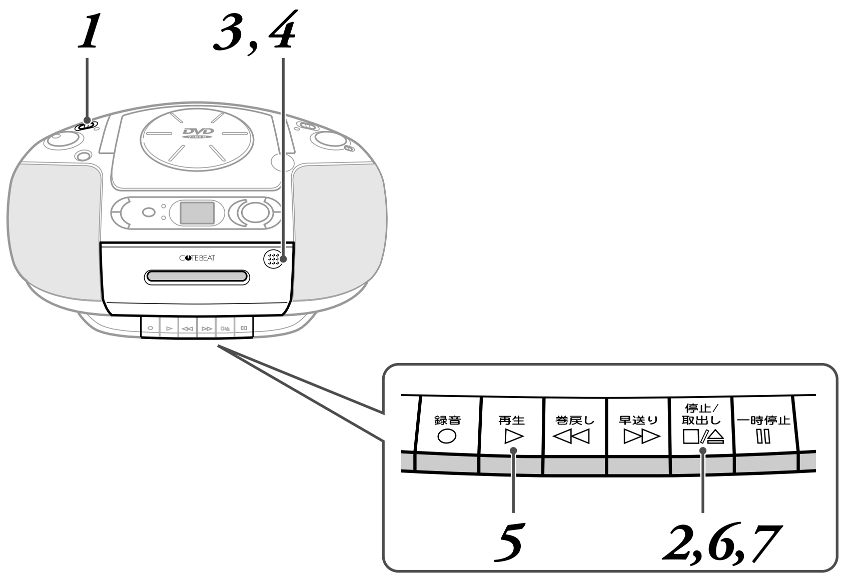
●ディスクテーブルに輸送用の保護シールが取り付けられています。
はじめてお使いになるときに取りのぞいてください。
●再生中はディスクふたを開けないでください。
●ディスクふたを開けた状態で、ハンドルを上げたり、持ったりしないでください。
●DVDを取り出す場合は、DVDの回転が完全に停止してから取り出してください。
回転中にディスクに触れるとけがをするおそれがあります。

お知らせ

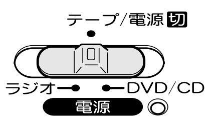
●ディスクが正しい位置にのっていないと、傷をつけたり故障の原因となります。
●ディスクの表裏を逆に入れると“ no disc ”が表示され、再生できません。
●ディスクに傷，指紋やほこりがついていると、再生できないことがあります。
●リモコンや本体のボタンを操作中にテレビやディスプレイの画面に「⊘」マークが表示されることがありますが、この場合は、本体もしくはディスクがその操作を禁止しています。

カセットテープを聞く

再生のしかた

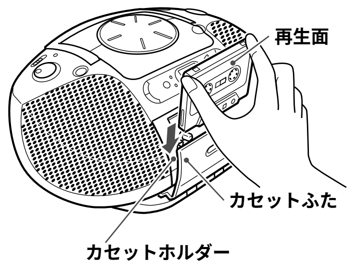


1 **【電源】スイッチを「TAPE/電源 切」の位置に合わせる**



2 **【停止/取出し（ ■/▲ ）】ボタンを押して、カセットふたを開ける**

3 **再生するカセットテープの再生面を手前にしてカセットホルダーに入れる**



4 **カセットふたを閉める**

5 **【再生（ ► ）】ボタンを押す**

●電源が入り再生が始まります。

6 **再生を止めるときは、【停止/取出し（ ■/▲ ）】ボタンを押す**

7 **カセットテープを取り出すときは、もう一度【停止/取出し（ ■/▲ ）】ボタンを押し、カセットふたを開いてカセットテープを取り出し、ふたを閉じる**

再生の一時停止

再生中に【一時停止（ II ）】ボタンを押す

●もう一度押すと再び再生が始まります。

早送り、巻き戻し

【早送り（►►）】または【巻戻し（◄◄）】ボタンを押す

●希望のところにきたら【停止/取出し（ ■/▲ ）】ボタンを押す

お願い

●再生・録音、早送り・巻戻し中にテープが片面巻き取られると、自動的にボタンが復帰して停止します。

●早送りまたは巻戻しをするときは、いったん【停止（ ■）】ボタンを押してください。直接【早送り（►►）】ボタンや【巻戻し（◄◄）】ボタンを押すとテープの巻き付きやテープ切れの原因になります。

カセットテープについて

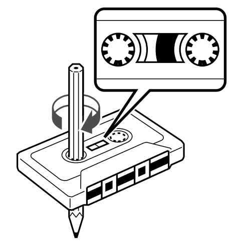
ノーマルテープ（TYPE1）をご使用ください。

●ハイポジションテープ（TYPE2）やメタルテープ（TYPE4）は再生できますがその特性を活かすことはできません。正しく録音・消去することもできません。

●エンドレステープは使用できません。

●90分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込むおそれがありますので、使用しないでください。

テープがたるんでいるときは、鉛筆などでたるみをとってから使ってください。テープ巻きつきなどの原因になります。



次のような場所には保管しないでください。

●ほこりの多いところ。

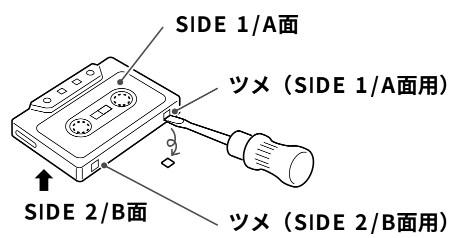
●磁気の発生するところ。

●高温や湿気の多いところ。

大切な録音を消さないために

●カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。

●誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさいでください。



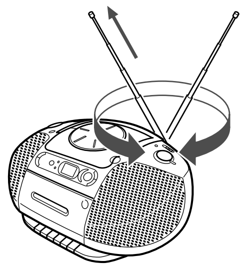
本体の使いかた

ラジオを聞く

よりよい受信をするために

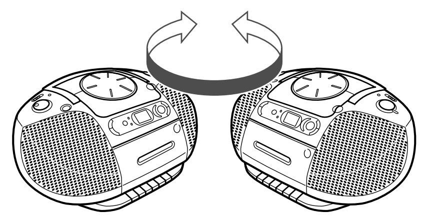
FM/TV音声（1～3CH）放送

FMアンテナを伸ばし、最も良く聞こえる方向にアンテナを向けてください。



AM放送

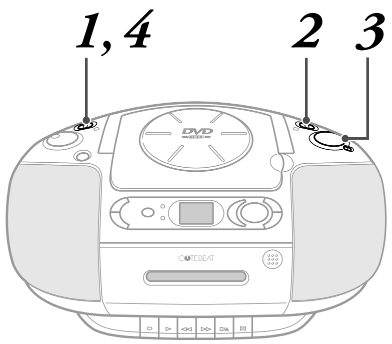
最も良く聞こえる方向に本体を向けてください。



FMステレオ放送の受信について

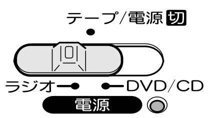
- 受信状態が悪く音声が聞き取りにくい場合には、自動的にモノラル音声になって聞きやすくなります。このとき、FMステレオランプは消えます。
- AMステレオ放送には対応していません。

ラジオの受信

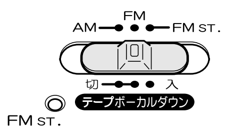


1 **【電源】スイッチを「ラジオ」の位置に合わせる**

- 電源ランプが点灯します。



2 **【ラジオバンド切換】スイッチを「AM」、「FM」または、「FM ST」に合わせる**



3 **【選局】ダイヤルで、お好みの局に合わせる**

4 **ラジオを止めるときは、【電源】スイッチを「テープ/電源 切」の位置に戻す**

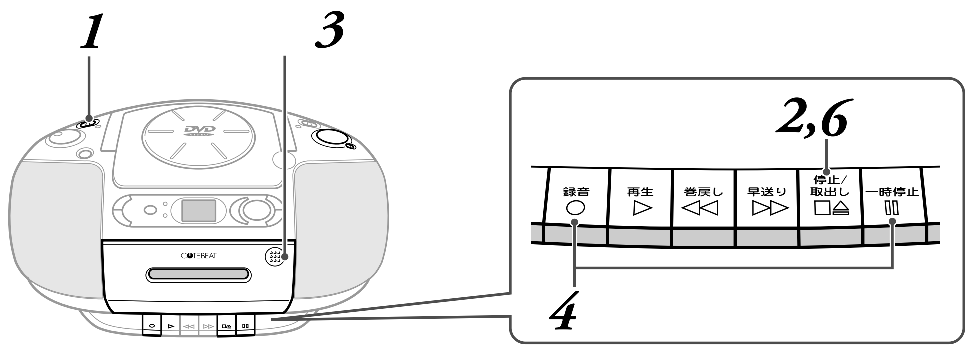
- 電源ランプが消灯します。

お願い

- 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、この本体のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本体をテレビから離してご使用ください。

カセットテープへ録音する

録音のしかた



1 **【電源】スイッチを「テープ/電源 切」の位置に合わせる**

2 **録音するカセットテープの録音面を手前にしてカセットホルダーに入れる**

3 **カセットふたを閉める**

4 **【一時停止（ II ）】ボタンを押してから、【録音（ ● ）】ボタンを押す**

- 【録音（ ● ）】ボタンを押すと【再生（ ► ）】ボタンも同時に下がり、録音スタンバイ状態になります。
- 電源ランプが点灯します。

お願い

- 録音ボタンを押すときは、再生ボタンも同時に押すため重くなります。親指でしっかりとロックするまで押し込んでください。

5 **CDを録音するときは**

1. **【電源】スイッチをDVD/CDに合わせる**
2. **「再生のしかた」（P14）にそって、再生する曲を選び、再生を一時停止しておく**
3. **カセットテープ操作部の【一時停止（ II ）】ボタンを押し戻してから DVD/CD操作部の【再生/一時停止（►/II）】ボタンを押す**

- CDを聞きながら録音を始めます。

ラジオを録音するときは

1. **【電源】スイッチを「ラジオ」に合わせる**
2. **【選局】ダイヤルで録音する局に合わせておく**
3. **録音する番組が、始まったら、カセット操作部の【一時停止（ II ）】ボタンを押し戻す**

- ラジオを聞きながら録音を始めます。

6 **録音を止めるときは、【停止/取出し（ ■/▲ ）】ボタンを押す カセットテープを取り出すときは、続けて【停止/取出し（ ■/▲ ）】ボタンを押し、カセットふたを開いて録音したテープを取り出し、ふたを閉じる**

録音の一時停止

録音中に【一時停止（ II ）】ボタンを押す

- もう一度押すと再び録音を続けます。

お知らせ

- 録音レベルは自動的に設定されます。
- DVDの音声も録音できます。

リモコンの使いかた（基本機能）

再生のしかた

1 **テレビの電源を入れ、本体を接続しているビデオ入力に切り換える**

2 **本体の【電源】スイッチ「DVD/CD」に合わせる**

●テレビに初期画面が表示されます。

3 **本体上面のディスクふたの手かけを持ち上げ、ふたを開く**



4 **DVDまたはCDをセットし、ふたを閉じる**

●本体表示部に「LOAd」と表示され、内容を読み込んでから再生します。（DVDによってリモコンの【再生/一時停止（▶/II）】ボタンを押してスタートするなど動作が異なることがあります）

5 **音量調節する**

本体のスピーカーで聞くときは、「音量調節について」（P11）にそって音量を調節する

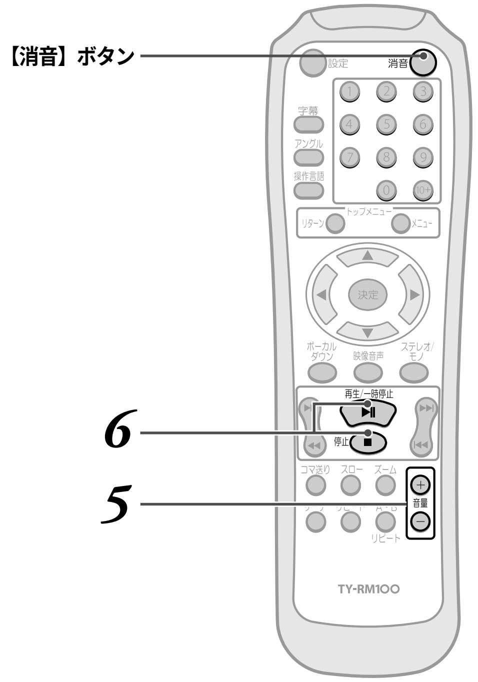
テレビのスピーカーで聞くときは

1. **本体の【音量調節】つまみを“低”の位置まで下げる**
2. **リモコンの【音量（＋−）】ボタンを押し20(最大）にする**
3. **テレビのリモコンを使用して、やや大きめに音量を調節しておく**
4. **リモコンの【音量（＋−）】ボタンでお好きな音量に調節する**

一時的に音を消すときは

リモコンの【消音】ボタンを押す

●もう一度押すともとの状態に戻ります。



6 **再生を止めるには**

【停止（■）】ボタンを押す

●テレビに初期画面が表示されます。

DVDの場合、再生を継続するときは

【再生/一時停止（▶II）】ボタンを押す

再生を完全に停止するときは

もう一度、【停止（■）】ボタンを押す

●CDの場合は【停止（■）】ボタンを一度押すと完全停止します。

お知らせ

●音量レベルはテレビ画面に表示します。
DVDは数字で“0〜20”まで
CDは棒グラフで“0〜20”まで表示します。
●カセットテープおよびラジオはリモコンでは操作できません。

送り/戻し（次または前の、チャプターや曲の選択）

送るときは

ディスクの再生中に【前スキップ（▶▶I）】ボタンを押す

●押すごとに次のチャプターや曲を再生します。

戻すときは

ディスクの再生中に【後スキップ（I◀◀）】ボタンを押す

●押すごとに前のチャプターや曲を再生します。
●MP3とWMAが混在するディスクの場合はスキップが働かないことがあります。

早送り、早戻し

【早送り（▶▶）】ボタンか【早戻し（◀◀）】ボタンを押す

●【早送り】ボタンまたは、【早戻し】ボタンを押すごとに、画面にx2,x4,x8,x16,x32と表示され、再生中の画面が最大×32倍速までの速度で早送りまたは、早戻しします。通常の再生に戻す場合は【再生/一時停止（▶II）】ボタンを押します。

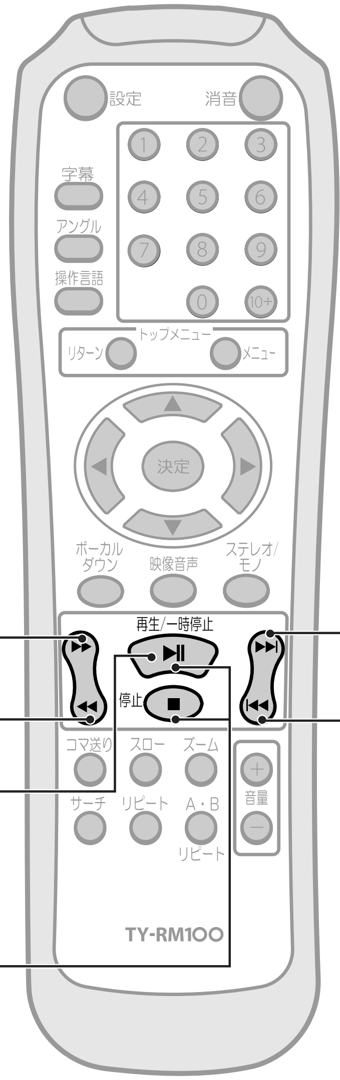
再生の一時停止

再生中に【再生/一時停止（▶II）】ボタンを押す

●再生を一時停止します。もう一度押すと続きを再生します。

始めに戻ってから再生しなおす（DVD）

【停止（■）】ボタンを2回押してから
【再生/一時停止（▶II）】ボタンを押す



リモコンの使いかた（その他の機能）

（つづく）

字幕の表示を切り換える（DVD）

ディスクに記録されている字幕を、選んで画面に表示できます。

再生中に【字幕】ボタンを押し、字幕言語を選ぶ

●ディスクに記録されていない字幕言語は表示されません。

字幕を消すときは、「字幕なし」まで押す

アングルを切り換える（DVD）

ディスクによっては、複数の違った角度（マルチアングル）から収録しているものがあります。その場合に好きなアングルに切り換えて再生することができます。

再生中に【アングル】ボタンを押す

●押すたびに、アングルが切り換わります。

操作言語の変更（DVD）

テレビ画面に表示する操作の案内言葉を選ぶことができます。

再生中に【操作言語】ボタンを押す

●押すごとに英語、日本語に切り換わります。

ボーカルのダウン（DVD・CD）

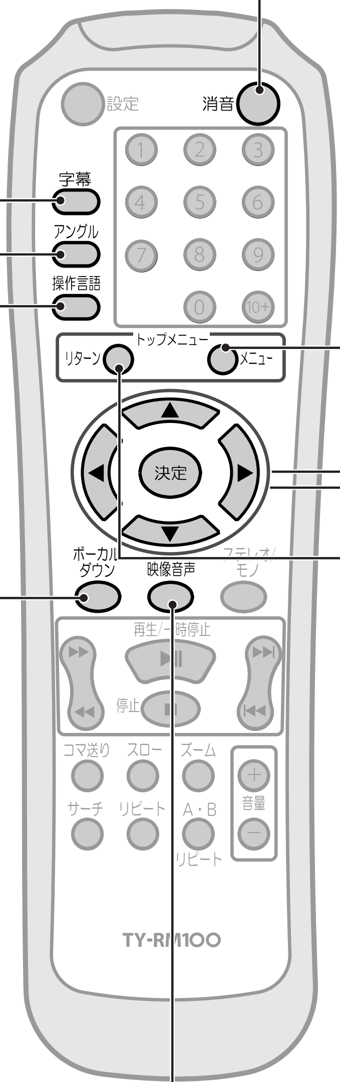
一般の音楽DVDや音楽CDのボーカル音量を下げることができます。

映像音声の変更（DVD）

複数の音声言語が記録されているディスクでは音声を切り換えることができます。
DVDカラオケの場合はボーカル有、無などの選択ができます。

再生中に【映像音声】ボタンを押す

ボタンを押し、音声言語を選ぶ



一時的に音を消す（DVD・CD）

再生中に
【消音】ボタンを押す

●再生中の音声を消します。もう一度押すと元の音声（音量）に戻ります。

トップメニューへ戻りメニューを確認する（DVD）

DVDのトップメニューには、タイトルやチャプターの他に独自のメニューが記録されているものがあります。メニューを選択して再生できます。

1 再生中に【メニュー】ボタンを押す

●トップメニューが表示されます。
●［リターン］ボタンを押すと前の再生画面に戻ります。

2 [方向（▲▼◀▶）]ボタンを押し、メニューを選ぶ

●選択画面の各メニューに番号がついている場合は、数字ボタン（0-9）を押して直接選ぶこともできます。

3 [決定]ボタンを押す

●選んだメニューの再生が始まります。

トップメニューへ戻り、前に見ている場面に戻る（DVD）

再生中にトップメニューに戻り、選んだメニューを再生し、また元の再生画面に戻るときに使います。

1 再生中に【リターン】ボタンを押す

●トップメニューが表示されます。
●前の再生画面に戻るときは、もう一度［リターン］ボタンを押してください。

2 [方向（▲▼◀▶）]ボタンを押し、メニューを選ぶ

●選択画面の各メニューに番号がついている場合は、数字ボタン（0〜9）を押して直接選ぶこともできます。

3 [決定]ボタンを押す

●選んだメニューの再生が始まります。

お知らせ

●DVDによってはこれらの機能が働かない場合があります。
●一般にDVDに収録されている情報や機能が優先して働きます。

リモコンの使いかた（その他の機能）（つづき）

ステレオ/モノラルの切り換え（CD）

ステレオとモノラルの切り換えができます。
CDカラオケの場合は、ボーカル有、無などの選択ができます。

再生中に【ステレオ/モノ】ボタンを押す

●押すたびに、ステレオとモノラル（左モノ、右モノ、ミックスモノ）が順に切り換わります。

再生画面を拡大して再生する（DVD）

画像を拡大することができます。

再生中または一時停止中に【ズーム】ボタンを押す

●ボタンを押すごとにテレビ画面にx2,x3,x4と順に表示され最大4倍まで拡大して映ります。

スローモーションで再生する（DVD）

画像をスローモーションで再生することができます。

再生中に
【スロー】ボタンを押す

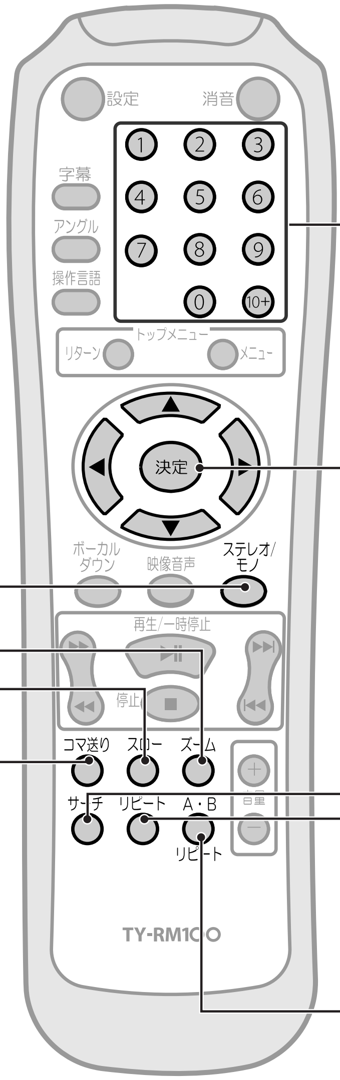
●押すたびに、通常再生速度の1/2,1/4,1/8,1/16のスピードに切り換わりスロー再生します。
●普通の再生に戻すには、【再生/一時停止（▶II）】ボタンを押します。

コマ送りで再生する（DVD）

画像をコマ送りで再生することができます。

再生中に【コマ送り】ボタンを押す

●押すたびに、画像を1コマづつ送りします。
●普通の再生に戻すには、【再生/一時停止（▶II）】ボタンを押します。



タイトルやチャプターを頭出しする（DVD・CD）

再生したいチャプターや経過時間を簡単に指定して頭出しできます。

1 **停止中または再生中に【サーチ】ボタンを押す**
●画面に例えば「01/02　CH　□/32」と表示される。（□/32の32は記録されている総チャプター数です）

2 **[数字」ボタンでチャプターを指定する**
●数字の入れかた
1〜9番目までの場合は、直接番号を押します。
10番目以上の場合は、まず、「+10」ボタンを押し、次に1桁の番号を押します。
「10」、「20」、「30」などの場合は「+10」ボタンで設定後に「0」ボタンを押します。
（例：25のときは、「+10」ボタンを2回押してから「5」を押します）

【サーチ】ボタンを2度押すと時間サーチの場合になります。
CD/MP3の場合は、手順1の後、指定する曲番を数字ボタンで直接押します。
●例：13番目を出すときは数字ボタンの「1」と「3」を順に押します。
●MP3と他の方式が混在する場合は働かないことがあります。

タイトル、チャプター、曲をくり返し再生する（DVD・CD）

再生したいタイトルやチャプター、曲をくり返し再生できます。

1 **停止中または再生中に【リピート】ボタンを押す**

2 **続けてボタンを押すたびに、「チャプターリピート」、「タイトルリピート」、「全てリピート」、「リピートオフ」の順に表示されるのでくり返す項目を選ぶ**
●「チャプターをリピート」は同じチャプターをくり返し再生、「タイトルをリピート」は同じタイトルをくり返し再生、「リピートなし」は普通の再生に戻ります。
●CDの場合は、「1曲リピート」、「全曲リピート」、「リピートなし」をくり返します。

3 **普通の再生に戻すときは「リピートなし」にする**
●通常の再生に戻ります。

範囲を指定してくり返し再生する（DVD・CD）

範囲（A〜B）を指定して再生したい部分だけをくり返し再生できます。

1 **再生中に、くり返し再生したい範囲の始点（A）で【A・Bリピート】ボタンを押す**

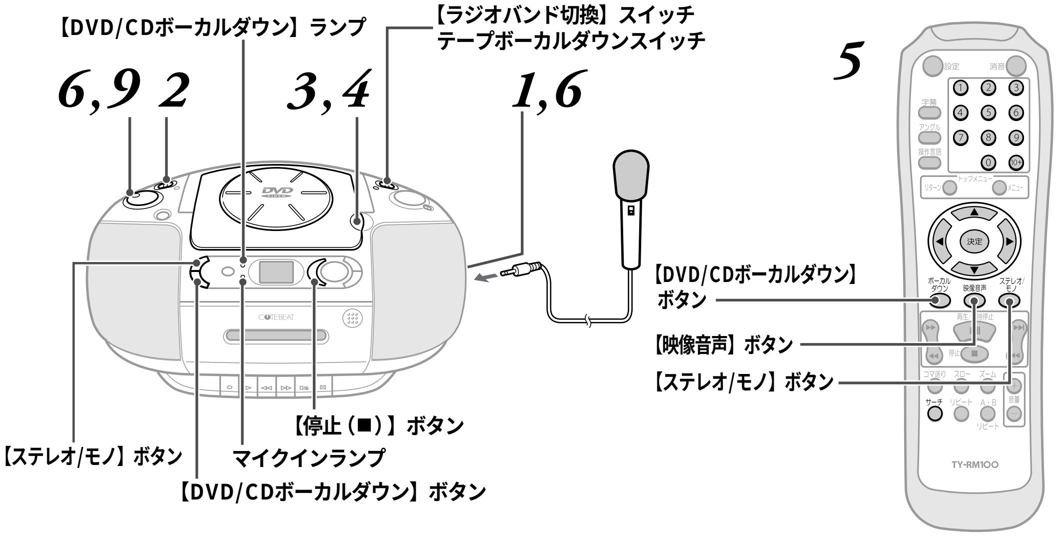
2 **くり返し再生したい範囲の終点（B）で【A・Bリピート】ボタンを押す**
●自動的にA点に戻り、指定した範囲（A-B間）のくり返し再生をします。

3 **普通の再生に戻すときは**
もう一度【A・Bリピート】ボタンを押す
●画面に「A・Bキャンセル」と表示され、通常の再生に戻ります。

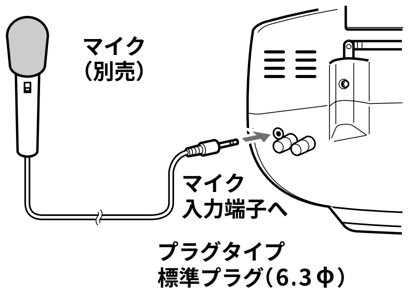
カラオケを楽しむ（DVD・CD・テープ）

カラオケのしかた

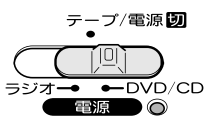
マイク（別売）を本体に接続して、カラオケを楽しむことができます。
DVDカラオケやCD-Gカラオケを楽しむ場合はP16～17に従ってテレビと接続しておきます。



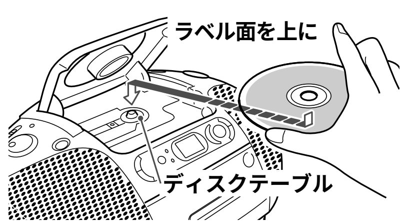
1 マイク(別売)のプラグを本体背面の「マイク入力端子」に差し込む



2【電源】スイッチを「DVD/CD」に合わせる



3 本体上面のディスクふたの手かけを持ち上げ、ふたを開く



4 カラオケのディスクをセットし、ふたを閉じる

- 表示部に「LOAd」と表示され、その後、DVDカラオケの場合は、曲目がテレビ画面に表示されます。
- CD-Gの場合は曲目は表示されないことがあります。
- 表示画面は再生するディスク（ソフト）によって異なります。

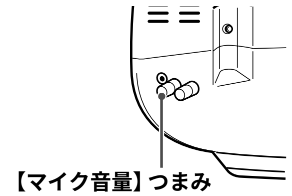
5 お好きな曲を選択する

- カラオケディスクによって選択のしかたが異なります。
- テレビ画面のの曲目リストにそって、【方向】ボタンで選び【決定】ボタンを押します。

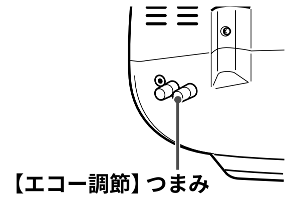
6【音量】つまみで、お好みの再生音量に調節する

7 本体背面の【マイク音量】つまみで、バランス良いボーカルの音量に調節する

- マイクを使って音声が入っているときは、マイクインランプが点灯します。



8 本体背面の【エコー】つまみで、お好みのエコー量に調節する



9 全体の音量調節は「音量調節について」（P11）にそって調節する

10 テレビ画面の歌詞にそってカラオケを楽しむ

ボーカルカットやダウンについて

DVDカラオケで楽しむとき

リモコンの【映像音声】ボタンを押す

- 音声トラックを選んで、ボーカルの入・切などでのカラオケを楽しみます。
- ボーカル切の音声トラックが無い場合は、ボーカルダウンボタンで代用します。

CD-Gカラオケで楽しむとき

本体またはリモコンの【ステレオ/モノ】ボタンを押す

- お好みの音声トラックを選んで、ボーカルの入・切などでカラオケを楽しみます。
- ボーカル切の音声トラックが無い場合は、ボーカルダウンボタンで代用します。

一般の音楽ディスクやテープで楽しむとき

一般の音楽ディスク（DVD/CD）や音楽テープでボーカルの大きさを下げてカラオケを楽しむことができます。

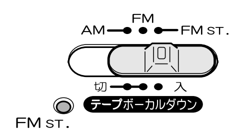
- ボーカルダウンランプが点灯します。

DVDやCDの場合は

本体またはリモコンの【DVD/CDボーカルダウン】ボタンを押す

テープの場合は

本体の【ラジオバンド切換】スイッチを「テープボーカルダウン入」に合わせる



お知らせ

- ボーカルダウンの効きかたは、歌手の音域や位置によって大きく変わります。センターに位置する音声によく効きます。
- 音声多重カラオケテープはボーカルダウン機能は働きません。（カラオケソフトとボーカル有り無しの選択についてP32～33を参照してください）
- 電源スイッチが「ラジオ」のときはマイクは使えません。
- テープが停止しているときはマイクは使えません。
- マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離してください。

カラオケソフトとボーカル有り・無しの選択について

通常のカラオケソフトの場合の【映像音声】、【ステレオ/モノ】、【ボーカルダウン】各ボタンの設定例を示します。お好みのポジションでお楽しみください。ただし、記録層数や音声仕様、音声内容によって設定どおり機能しないことがあります。そのような場合はカラオケソフトの説明書に従ってください。

■DVDカラオケ

【映像音声】ボタンで選択します。

		トラック1	トラック2	トラック3	トラック4
マルチ音声カラオケ付DVD	Aタイプ	ボーカル・無 メロディ入	ボーカル・有		
	Bタイプ	ボーカル・無 メロディ入	ボーカル・有	ボーカル・無 キー変換	
	Cタイプ	ボーカル・無 メロディ入	ボーカル・有	ボーカル・無 メロディ無	ボーカル・無 キー変換

●譜面が出るマルチ音声カラオケの、映像 ◀▶ 譜面の切換は【アングル】ボタンを使います。
●マルチ音声のトラックはあらかじめボーカル・無（OFF）に設定しています。他の選択はできません。

	トラック1	トラック2
音多カラオケDVD	ボーカル・有	ボーカル・無 メロディ入

■CD-Gカラオケ

【CDステレオ/モノ】ボタンで選択します。

	ステレオ	左モノ	右モノ	ミックスモノ
CD-Gカラオケ	ボーカル・有 ステレオ	ボーカル・無 モノ	ボーカル・有 モノ	ボーカル・有 モノ

■一般の音楽DVD/CD

【DVD/CDボーカルダウン】ボタンで選択します。

	切	入
一般の音楽DVD	ボーカル・有	ボーカルダウン
一般の音楽CD	ボーカル・有	ボーカルダウン

■一般の音楽テープ

【テープボーカルダウン】ボタンで選択します。

	切	入
一般の音楽カセットテープ	ボーカル・有	ボーカルダウン

お知らせ
●【ボーカルダウン】ボタンによる音声ダウンは、音声がセンターに位置するほど効きます。録音状態によっては効果がない場合があります。
●音声多重カラオケカセットテープは、ボーカルダウンできません。
●（A面）ボーカル入り/（B面）ボーカル無しのカラオケ付カセットテープの場合はA面、B面を選んでお楽しみください。

初期設定の変更のしかた

初期設定されている内容

本体は、工場出荷時にあらかじめディスクの再生のための基本的な初期設定をしてありますが、お好みの設定に変更するときは、下の表をご覧になり、初期設定を変更する際の目安にしてください。設定は3つの設定グループ（言語設定、機能設定、初期値）の下にそれぞれの機能項目があり設定できます。

項目	設定内容	初期設定
■言語設定		
音声言語	記録されている言語の中からどの言葉で再生するか決めます。	日本語
字幕言語	記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を表示するか決めます。	日本語
ディスクメニュー言語	ディスクに記録されているメニューをどの言語で表示するか決めます。	日本語
■機能設定		
アナログ出力設定	ステレオモードの設定を行います。	ステレオ
光出力設定	光出力の設定を決めます。	オフ
スクリーンセーバー	画面の焼き付きを防ぐための機能です。	オン
■初期値		
言語・機能設定	出荷時の設定に戻すときに使います。	–

- DVDにあらかじめ記録されている情報をリモコンで選択した設定が優先されます。
- 初期値に戻す場合は【設定】ボタン【方向（▶）】ボタンを押して［初期値］、［初期値に戻る］を選んでください。

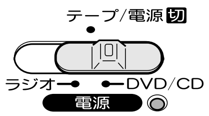
初期設定の変えかた

［例］：言語設定のしかた

1 テレビの電源を入れ、本体を接続している入力に切り換える

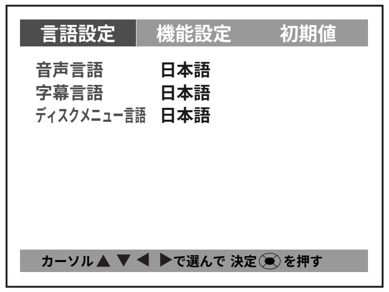
2 本体の【電源】スイッチを「DVD/CD」に合わせる

- 電源ランプが点灯し、画面にに初期画面が表示されます。



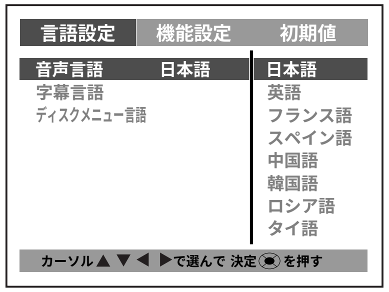
3 リモコンの【設定】ボタンを押す

- 機能選定画面が表示されます。
- 手順3以降の操作はリモコンの【方向（▲▼◀ ▶）】ボタンと【決定】ボタンで行います。



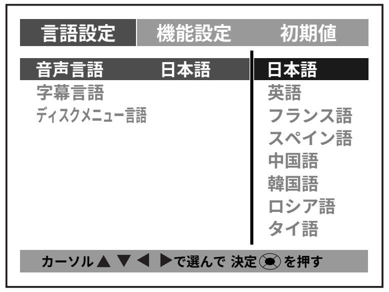
4 ［言語設定］グループが選択され、バックが赤くなっていることを確認し【方向（▼）】ボタンを押す

- ［音声言語］が選択され、文字のバックが緑になり、右側に黄色く［日本語］とかかれた、初期値が表示されます。



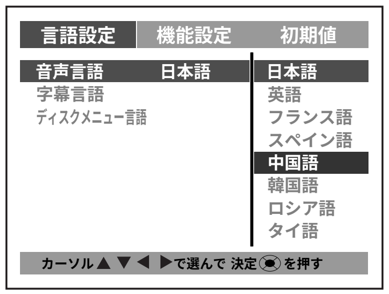
5 【方向（▶）】ボタンを押して言語を選ぶ

- 右側の選択項目の一番上にある［日本語］のバックが茶色に表示されます。



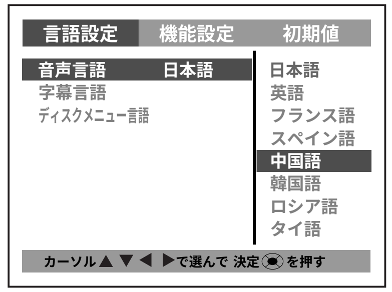
6 【方向（▲▼）】ボタンを押し、選択したい言語に合わせる

- 選択した項目の文字バックが茶色になります。
- 前に設定した言語のバックは緑色に表示されています。

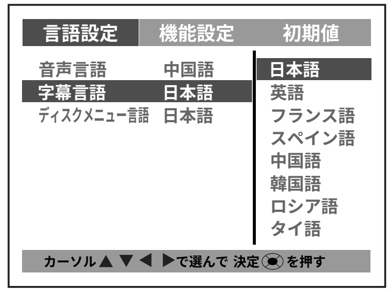


7 【決定】ボタンを押す

- 前に設定した言語のバックの色が消えて新たに選択した言語の文字バックが緑色になります。



8 次の言語設定項目に進むときは、【方向（▲▼）】ボタンを押し、手順5～8をくり返し、設定する



9 設定が完了したら、【方向（◀）】ボタンを押す

10 次のグループの［機能設定］に進むときは【方向（▶）】ボタンを押し、［機能選定］を選択し、（文字バックが赤くなる）手順4～9の操作を行って最後にリモコンの【設定】ボタンを押す

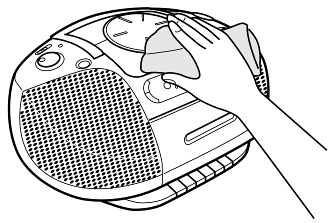
- 初期画面に戻って設定変更完了です。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

本体

柔らかい布で汚れを軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



お願い

● ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

テープヘッド部

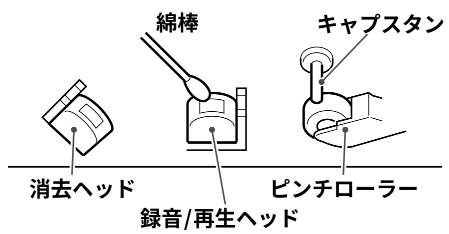
テープを再生または録音すると、次のような症状が出る場合があります。

●音が悪い
●きれいに録音できない
●前の音が残っている
●テープが巻きつく

ほとんどの場合、ヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングキット（またはクリーニングテープ）をお買い求めのうえ、ヘッド部分を掃除してください。掃除はできるだけ早目（約10時間程度使用ごと）におこなってください。

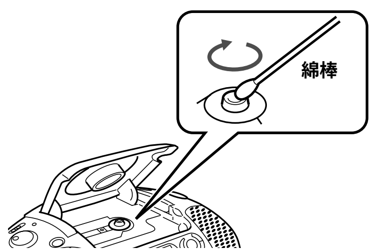
掃除のしかた

1．［停止/取出し（ ）］ボタンを押してカセットふたを開ける
2．市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽くふくカセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



ピックアップレンズ

DVD/CD装着部のピックアップ用レンズが汚れると、映像の乱れや音とびが起きたり、時には再生ができなくなります。
レンズについた指紋などの汚れは、新しい綿棒でレンズの中心から外側に向かって軽く円を描くようにふき取ってください。



故障かな？と思ったとき

症　状	原　因	処置方法
電源が入らない	●電源プラグが抜けている。	●電源プラグをしっかりと差し込む。
ディスクを読み込まない	●ディスクが入っていない。 ●ディスクが裏返しに装着されている。 ●ディスクの読み込みに十数秒かかる。 ●ディスクが汚れていたり、傷がついている。 ●リージョンコードの異なるディスクを使用している。	●ディスクを入れる。 ●ディスクをレーベルの印刷がある側を上にしてしっかり装着する。 ●ディスクの汚れを取る、又は、ディスクを交換する。 ●リージョンコード「2」のディスクをご使用ください。
画像が出ない	●映像接続コードが確実に接続されていない。 ●テレビの入力切り換えが正しくない。	●映像接続コードを確実に接続する。 ●テレビの入力を切り換え、映像が出るようにする。
音がとぶ	●ディスクに大きな傷やそりがある。 ●振動する場所に設置している。	●ＣＤをとりかえる。 ●振動のない場所に設置する。
本体の操作ボタンを押しても動作しない	●外部のノイズや静電気などの影響や操作の手順で動作しないことがある。	●本体の電源コードをいったん抜き、マイコンをリセットしもう一度電源を入れてみる。
音声が出ない	●音声接続コードを接続している機器の電源が入っていない。 ●音声接続コードを接続している機器の入力切替が正しくない。 ●音声接続コードがしっかりと接続されていない。 ●接続されたテレビやオーディオ機器の音量が絞られているか「消音」になっている。 ●リモコンの音量が絞られている。	●音声接続コードを接続している機器の電源を入れる。 ●音声接続コードを接続している機器の入力を切り換える。 ●音声接続コードをしっかりと接続する。 ●接続されたテレビやオーディオ機器の音量を調節する又は、「消音」を解除する。 ●リモコンの「音量」ボタンを押し音量を調節する。
画像や音声が乱れることがある	●ディスクが汚れている。 ●早送り、阜戻し(巻戻し)をした。	●ディスクの汚れを取る。 ●画像が多少乱れますが故障ではありません。
ディスクで決められた通りの再生ができない	●「リピート」、及び、「A-B」再生などが機能していることがある。	●これらの再生が終わるまではディスクの決められた通りの再生ができない場合があります。 ●電源を切ってリセットし、再生してみる。
リモコンが動作しない	●リモコンが本体の受光部に向いていないか、距離が離れすぎている。 ●リモコンの電池が消耗している。 ●電池の向きが違っている。	●リモコンの先端の送信部を本体の受光部に向ける。または距離を近づけてから操作する。 ●新しい電池に交換する。 ● 電池を正しく入れ直します。
カセットが入らない カセットふたが閉まらない	●カセットの向きが前後逆さまになっている。 ●カセットがホルダーからはずれている。	●テープの見えている方を手前にして入れる。 ●ホルダーにそって入れる。
テープが走行しない	●カセットテープの不良。 ●テープ厚がうすい長時間テープでスリップする。	●カセットテープをとりかえる。 ●C-90以下のテープを使用する。
録音ボタンが押せない	●ツメの折れた録音済みのカセットを装着している。	●新しいカセットかつめをふさいだテープに取り代える。
音がとぎれる、音程が狂う 消去が不完全	●ヘッド部が汚れている。 ●ハイポジションやメタルテープを使っている。	●清掃する。 ●ノーマルテープを使用する。
雑音が多く聞きづらい	●電源雑音の影響を受けている。 ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている。	●電源プラグの刃向きを差し換える。 ●本機を雑音源から離す。 ●テレビを離す。 ●アンテナを調節する。

仕様

DVD/CD部

再生可能ディスク	DVD、DVD-R、DVD-RW、音楽CD、CD-G CD-R、CD-RW、MP3方式のCDファイル

テープレコーダー部

再生可能テープ	コンパクトカセットテープ 90分以下
トラック方式	4トラック、2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	マグネット消去
早送り・巻戻し時間	約2分（60分テープ）

ラジオ部

受信周波数	AM：526.5kHz～1,606.5kHz FM：76MHz～90MHz TV音声：1ch～3ch

共通部

音声入力端子	マイク	6.3Φモノーラルジャック
音声出力端子	光 左、右 ウーハー ヘッドホン	PCM, RAW用×1 USピン×2 USピン×1 3.5Φステレオミニジャック
映像出力端子	映像 S映像	USピン（コンポジット） S端子
スピーカー	89mmΦフルレンジコーン型×2	
実用最大出力	2.2W＋2.2W、総合4.4W	
電源	AC 100V、50/60Hz DC 12V（単1形乾電池）×8本（別売）	
消費電力	15W	
電池寿命	DVD/CD再生時　5時間以上（アルカリ乾電池、最大音量）	
最大外形寸法	幅355×高さ166×奥行233mm (ボタン、つまみ等の突起物含む。ハンドル含まず。)	
質量	約2.65kg（乾電池含まず。）	
付属品	電源コード（コード長：約1.8m）、映像・音声接続コード（コード長：1.5m） リモコン、リモコン用単4形乾電池2本、保証書付取扱説明書	

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

お知らせ

- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合

東芝エルイートレーディング（株）サポートセンター

フリーダイヤル 0120-28-0488 / ナビダイヤル 0570-01-0488 / FAX 03-3258-0470

- フリーダイヤルは携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
- ナビダイヤルは、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
- フリーダイヤルの通話料は無料です。　• サポート料金は無料です。
- 受付時間：午前10時～午後8時（年末年始、日、祝日を除く）
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

補修用性能部品の保有期間

- DVD/CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 37ページに従って調べていただき、なお異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

■ご連絡いただきたい内容

故障の状況	できるだけ具体的に
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入されておくと便利です。 電話（　　　　）

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。		ご使用中止	
	● 電源コードが傷んでいる。 ● 煙が出る。 ● 変な臭いがする。 ● その他の異常や故障がある。		故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。